

## 市政のキーワードは 前進と対話

今日の武雄市政は、図書館や教育改革など、先進的な取り組みが芽を出し始めたばかりです。武雄市が温めてきたこれらの大きな財産を、もっと確かな、実感できるものとして着実に前進させていきます。

そのためには、市民の皆様との対話の場を大切に、議会との議論を重ねて、これまででない多様なアイデアを創出していくことが不可欠です。

だからこそ、様々な場で様々な人たちと意見を交わしながら、武雄市の市民福祉の維持向上のために、挑戦し続ける姿勢を絶やさずに、あらゆる施策に現実主義で取り組んでまいります。

## 子ども目線で 子育てナンバーワンのまちに

武雄の未来にとって最も重要なのは、武雄を背負う次世代の子どもたちです。

私自身も子育てに取り組み父親だからこそですが、子どもたちの未来へ向けて、子どもの目線に立った豊かな心身を育むまちづくりは、これからの武雄市政の責務だと思っています。

武雄の子どもたちが生き生きと育つ教育の実現に向けては、親世代がしっかりと教育に

向き合える子育て環境の充実を図りながら、地域の皆様のご協力のもと、官と民の連携による活きた教育を実現していきます。

## 高齢者こそがまちの元気

いまや武雄市人口の五分の一が高齢者です。元気で経験豊富な高齢者の皆様は、武雄の大きな原動力なのです。

そんな皆様の暮らしがどれだけ豊かに実現できるまちであるかを、将来の武雄を支える若い世代は、まるで自分の将来と重ねるようによく見えています。

今も将来も、人生の長い時間を安心して暮らせるまちを実現するために、今日まで武雄のまちを支えて来られた高齢者の皆様は、どれだけ意欲的に健康増進や生涯活動に取り組むことができるかに力をいれ、生きがいづくりを支援していきます。

## 「あるもの」を活かしてにぎわいを

実は武雄には、豊かな住環境や資源と産業など、胸を張って全国に送り出せる財産にあふれています。

しかし、地域間競争の時代では、せっかくの財産があることにも気づかず、また、気づいても魅力を伝えるアイデアがなければ全く知られることもなく埋もれてしまう、これが現実です。

今、全国でも有数の元気なまちとして認知されてきた武雄に、これから必要なことは「アイデア」です。豊富な自慢の財産を、これまでにない発想で魅力を引き出し、市全体がにぎわいのあるまちづくりに挑戦します。

まだまだお伝えしきれない思いがたくさんあります。

これから、武雄市がどのように充実していくべきかを市民の皆様としっかりとお話ができるように、日々市内を駆け巡りたいと思っています。

皆様から託していただいた4年間、武雄市にある様々な種や芽を育み、たくさん大きな花を咲かせるために、頑張ってまいります。

市民の皆様のご支援とご協力を、切にお願い申し上げます。

